

海外安全対策情報(平成 29 年度第 3 四半期:2017 年 10 月~12 月)

1. 社会・治安情勢

当国では、治安面で大きな問題はなく、一般犯罪は減少傾向にあるが、スリ、置き引き、強盗は相変わらず発生している。なお、組織的犯罪が増加傾向にあり、オスロ市内や近郊では侵入窃盗及び屋内強盗事件、銃撃事件などが発生している。

また、欧州への難民流入に伴い、ノルウェーでは国境検問の強化、フェリーでの ID 検査を継続している。

最近の欧州におけるテロ等治安情勢を踏まえ、ノルウェー警察はテロを未然に防ぐ活動を継続している。

2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 主な一般犯罪事例

ア 空港、ホテル、レストランでの置き引きが依然として多い。

イ 数人のグループで話しかけて注意を引きつけている隙に仲間が財布等をすったりひったくったりする手口が多い。

ウ オスロ市内で、銀行、スーパー、自宅等を狙った強盗が発生している。

エ 空き巣が発生している。

オ オスロ中央駅付近の治安は、特に夜間は良くない。また、この地区では強盗・ひったくりの被害報告が多い。

カ 組織的犯罪が増加傾向にある。

(2) 邦人被害事案

特になし。

3. テロ・爆弾事件発生状況

2017 年 11 月、ノルウェー国家公安警察は、2017 年 4 月に引き上げたノルウェー国内でテロが起きる可能性に係る治安情勢評価を「可能性が高い(5段階の上から2番目)」から「可能性がある(5段階評価の上から3番目)」に引き下げたが、引き下げ後もノルウェー国内におけるテロ攻撃の危険性は消えてはいない旨発表した。

なお、現在のところ、日本権益に対しての何らかの脅威が存在するという情報は無い。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

特に情報はない。

5. 日本企業の安全に関わる諸問題

特に情報はない。